科目名 ：	数学Ⅱ	単位数 ： 4 単位	必要スクーリング出席回数： 4 回
使用教科書 ：高校数学Ⅱ（新訂版） （実教出版）			
学習書 ・副読本 ：なし			

	年間総数	１範囲	２範囲	３範囲
レポート [R]	12 枚	4 枚	4 枚	4 枚
スクーリング [S]	16 回	6 回	5 回	5 回
テスト [T]	2 回	○	×	○
その他 （課題・実習等）	課題を与える可能性があります			

1 担当者からのメッセージ（学習方法等アドバイス）

複素数、図形と方程式、三角関数、指数関数、対数関数、微分、積分などについて学びます。「数学Ⅰ」を発展させた内容で、他の数学科目に比べて計算や論理が難しいです。スクーリングへの出席以外に、自宅などでの学習時間を増やす必要があるでしょう。

2 学習の到達目標

複素数、図形と方程式、三角関数、指数関数、対数関数、微分、積分についての基礎知識の修得及び事象を数学的に考察する力を養う。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b ：数学的な見方や考え方	c ：数学的な技能	d ：知識・理解
観点の趣旨	いろいろな式，図形と方程式，指数・対数・三角関数及び微分・積分の考え方に関心をもつとともに，それらを事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，いろいろな式，図形と方程式，指数・対数・三角関数及び微分・積分の考えにおける数学的な見方や考え方を身につけている。	いろいろな式，図形と方程式，指数・対数・三角関数及び微分・積分の考えにおいて，事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身につけている。	いろいろな式，図形と方程式，指数・対数・三角関数及び微分・積分の考えにおける基本的な概念，原理・法則等を体系的に理解し，知識を身につけている。
評価方法	・記述の点検（レポート）	・記述の確認及び分析（レポート） ・定期考査	・記述の確認及び分析（レポート） ・定期考査	・記述の確認及び分析（レポート） ・定期考査

・学年末に５段階で評価する。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元(題材)の評価規準	評価方法
1範囲	1章 複素数と方程式・2章 図形と方程式	・式の計算 ・複素数と2次方程式 ・高次方程式 ・点と座標 ・直線の方程式	○	○	○	○	aいろいろな式に関心をもち数学的論拠に基づいて判断しようとする。 b事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりして数学的な考え方を身につけている。 cいろいろな式において表現・処理する仕方や推論方法などの技能を身につけている。 dいろいろな式の基本的な概念原理法則等を体系的に理解し，知識を身につけている。	・レポート ・定期考査
2範囲	3章 いろいろな関数	・三角関数 ・指数関数 ・対数関数	○	○	○	○	a様々な関数に関心をもち数学的論拠に基づいて判断しようとする。 b事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりして数学的な考え方を身につけている。 c様々な関数において表現・処理する仕方や推論方法などの技能を身につけている。 d様々な関数の基本的な概念原理法則等を体系的に理解し，知識を身につけている。	・レポート
3範囲	4章 微分と積分	・微分係数と導関数 ・導関数の応用 ・積分の考え	○	○	○	○	a微分積分に関心をもち数学的論拠に基づいて判断しようとする。 b事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりして数学的な考え方を身につけている。 c微分積分において表現・処理する仕方や推論方法などの技能を身につけている。 d微分積分の基本的な概念原理法則等を体系的に理解し，知識を身につけている。	・レポート ・定期考査

※ 表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：数学的な見方や考え方
　　c：数学的な技能　　d：知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。